



takata04-smartfix basic

取扱説明書

ご使用前に
必ずよくお読みください。
いつでも読めるように、
大切に保管してください。

ご使用の前に必ずお読みいただき、
取扱説明書に従い、正しくご使用ください。
また、いつでも読めるように、
大切に保管してください。

このチャイルドシートは、自動車事故などの際に
衝撃を緩和することを目的につくられた
年少者用補助乗用装置です。
チャイルドシートの確実な取り付けとともに
安全運転をお願い申し上げます。



当製品は、安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売して
おりますが、万が一リコール等がありました場合に、速やかにお客様
にご連絡し、修理等をさせていただくため、お客様登録をしてい
たきたいと存じます。

つきましては、弊社ホームページよりご登録いただくか、付属のお
客様登録カードに、お名前、ご住所、お電話番号をご記入いただき、
弊社お客様登録カード係までお送りいただきたくお願いいたします。

取扱説明書は、シートクッション右側面のポケットに入れて保管して
ください。



目次

ご使用にあたって	3
次のものがそろっていますか.....	3
各部の名前.....	5
<hr/>	
必ずお読みください	6
マーク表示について.....	6
緊急時には.....	6
お子さまの条件.....	7
<hr/>	
ご使用上の注意	8
取り付けできるシート	8
取り付けできないシート	8
取り付けできるシートベルト	9
取り付けできないシートベルト.....	10
お子さまを乗せるときは	11
取り付けるときは	12
こんなことにも注意して	13
<hr/>	
取り付け前の準備.....	15
肩ハーネス高さの確認	15
肩ハーネス高さ	16
肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換	17
インナークッションの取り付け	23
<hr/>	
お車への取り付け.....	25
乳児用：体重13kg未満	25
幼児用：体重9～18kg	33
リクライニングの使いかた	42
お子さまの座らせかた	43
<hr/>	
お手入れのしかた.....	45
シートカバー類の取り外し	45
シートカバー類の取り付け	47
各部のお手入れ	48
補修部品について	49

保証書

ご使用にあたって

次のものがそろっていますか

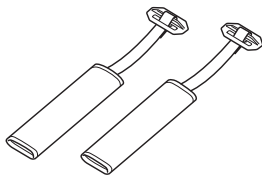
ご使用になる前に、下記の製品がそろっているかご確認ください。

欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店またはお客様相談室（0120-70-5441）までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、品番ラベルに記載されている品番を必ずお伝えください。（P.49 参照）

■チャイルドシート本体

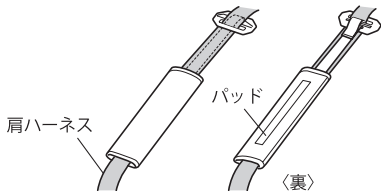


■前向き用肩ハーネスカバー



△ アドバイス

前向き用ハーネスカバーには、裏面（お子さまの体に接触する面）にパッドが付いています。



■取扱説明書

シートクッション側面に取扱説明書の
収納スペースがあります。

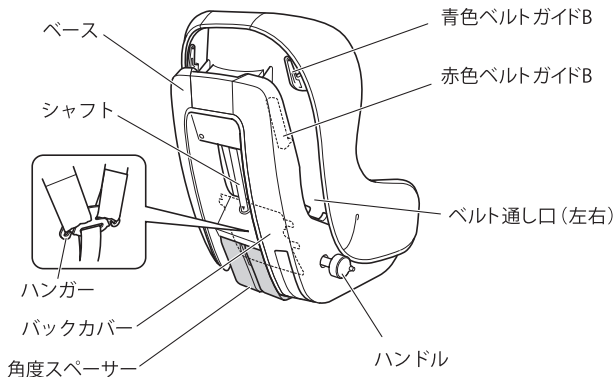
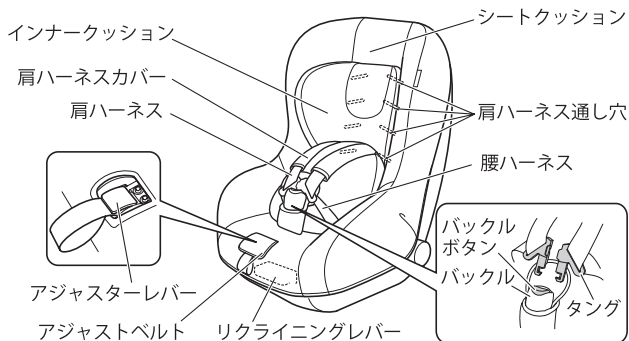


ご使用にあたって

各部の名前

チャイルドシートと合わせてご確認ください。

※印のついているものは、一部の商品にのみ装備されています。



必ずお読みください

マーク表示について

この取扱説明書には、安全にご使用いただくために、特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。

これらの記載内容は重要ですので、しっかりとお読みください。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負うおそれが想定される内容を示しています。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負うおそれがある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。

🔥 アドバイス

チャイルドシートをご使用になる上で守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。



図示されている行為の禁止を示しています。

緊急時には

衝突事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

- ①バックルボタンを押してバックルからタンクを外す。



- ②お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。




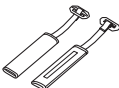
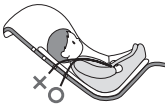

🔥 アドバイス

バックルボタンを押してもタンクが外れない場合は、ハーネスを切断するなどしてお子さまを救出してください。

必ずお読みください

お子さまの条件

ご使用になるお子さまに合った正しい取り扱いを行ってください。

体重 (参考年齢)	13kg未満 (新生児～1歳半ごろ)	9～18kg (9ヶ月～4歳ごろ)
取り付け方	お車の進行方向に対し 後ろ向きで使用  (P. 25参照)	お車の進行方向に対し 前向きで使用  (P. 35参照)
ハーネス カバー インナー クッション (P. 19参照)	後ろ向き用 7kg未満まで 	前向き用 インナー クッションは 使用しません 
肩ハーネス の高さ (P. 16参照)	肩と同じか低い位置 	肩と同じか高い位置 

⚠ 警告

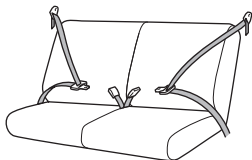
体重が9kgを超えるまでは後ろ向きで使用してください。

年齢の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

ご使用上の注意

取り付けできるシート

- 進行方向に対し前向きで、3点式シートベルトが付いているシート

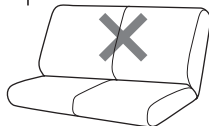


⚠️ アドバイス

お取り付けに際しましては、お取り付けになるお車の取扱説明書も合わせてご確認ください。

取り付けできないシート

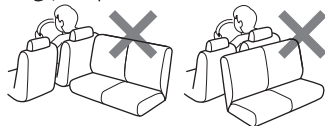
- シートベルトが付いていないシート



- 前方にエアバッグが装備されたシート



- 横向き・後ろ向きになっているシート



- チャイルドシートを取り付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート

⚠️ 警告

お車のシートが上記のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。取り付けした場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

取り付けできるシートベルト

このチャイルドシートは、協定規則第44号（ECE R44/04）に適合しています。協定規則第16号（ECE R16）または同等の基準で許可された3点式巻取り装置付シートベルトを装備したお車にて、ご使用することができます。

■ELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出される時）とシートベルトがロックされ、引き出せなくなるタイプ。



■チャイルドシート固定機構付ELRシートベルト

チャイルドシートを固定するための装置が備えられているタイプ。シートベルトとして通常使用するときはELR機能が働く。

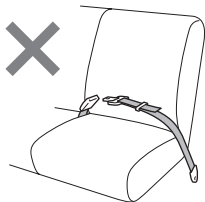


🔥 アドバイス

お車のシートベルトの種類・特徴・長さの調整のしかたなど、詳しくはお車の取扱説明書をお読みください。

取り付けできないシートベルト

- 2点式シートベルト
肩ベルトがなく腰ベルトの2点
で固定するタイプ。



- 腰ベルト側に付いたELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出される時）とシートベルトがロックされ、引き出せなくなるタイプ。

- ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト
シートベルトを引き出している途中に手を止めると、自動的にロックされ、それ以上ベルトが引き出せない（巻き戻しは可能）タイプ。

- マニュアル式シートベルト
シートベルトの巻取り装置がなく、通常はシート側面などに固定されているタイプ。

- パッシブシートベルト
シートに座りドアを閉め、エンジンキーをONにすると肩ベルトが自動で装着するタイプ。
腰ベルトは手動。
ベルトを外すときは、ドアを開けるかエンジンキーをOFFにする。

- NLR（非ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト
シートベルトのロック機構がないため、シートベルトを巻取り装置からすべて引き出し、長さを調整するタイプ

- その他のシートベルト
「取り付けできるシートベルト」（9ページ）に記載されていないシートベルト。

⚠ 警告

お車のシートベルトが上記のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。
取り付けした場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負う可能性があります。

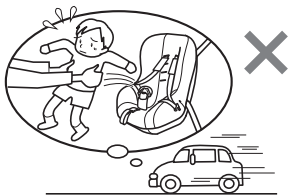
⚠ 警告

お子さまを乗せるときは

お子さまだけを車に残した状態で
お車から離れないでください。
不慮の事故（熱射病やいたずらに
よる事故など）につながるおそれ
があります。



走行中は、お子さまをチャイルド
シートから乗り降りさせないでく
ださい。



ハーネスは、ねじれのないように
お子さまの身体にあわせて調節し
てください。ねじれていると事故
時に重大な傷を負う可能性があ
ります。



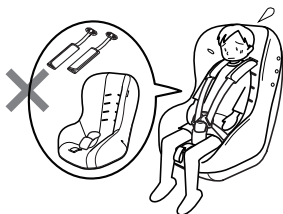
腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘
束されるように必ず腰ハーネスを
低く下げて着用させてください。
腹部に腰ハーネスがかかっていると、
事故等のときに腹部が圧迫され
重大な傷を負う可能性があります。



⚠ 警告

取り付けるときは

チャイルドシートを安全にお使い
いただくため、柔軟材料（専用カ
バー類・ハーネス類・発泡材料等）
を取りはずしたり、専用品以外に
取り換えて使用しないでください。



チャイルドシートのハーネスを刃
物等の鋭利なもので傷つけないで
ください。

傷ついていると、チャイルドシ
ートが正常な働きをしません。



チャイルドシートを車両に固定す
るシートベルトに緩みや、ねじれ
のないようにしてください。チャ
イルドシートにガタツキが生じ、
事故時に重大な傷害を負う可能
性があります。



取扱説明書に記載された以上の分
解や、構成部品を取りはずした状
態での使用および指定以外の物と
の交換は絶対にしないでください。



⚠ 警告

こんなことにも注意して

事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれがあるので、再使用しないでください。



チャイルドシートのロック部分（バックル等）には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。



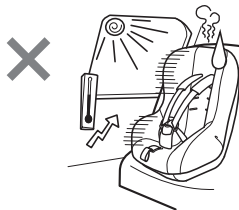
チャイルドシートを保管する時には、強い衝撃を与えたり、長期間屋外など日光が当たる場所に放置しないでください。



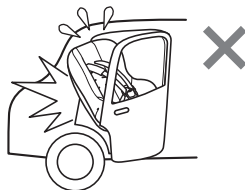
⚠ 注意

こんなことにも注意して

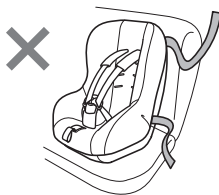
チャイルドシートに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認の上、ご使用ください。



可動式シートまたは車両のドアにチャイルドシートの剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにして本品を取り付けてください。

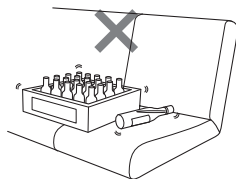


チャイルドシートにお子さまを乗せないときでも、安全のため必ず固定してください。衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、傷害を負う可能性があります。



事故発生時や乗員に、傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。

万一のとき、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。



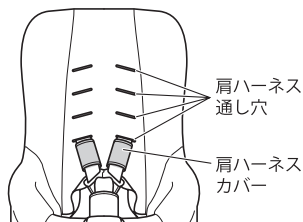
取り付け前の準備

肩ハーネス高さの確認

お子さまの肩の位置に合わせ、肩ハーネス通し穴の位置 (P.16参照) を調整し、適切な肩ハーネスカバーを使用する必要があります。

🔥 アドバイス

- 肩ハーネス通し穴の位置を確認するときは、チャイルドシートを正しい取り付け角度にし、お子さまを座らせた状態で行ってください。
- お子さまの座らせかたにつきましては、「お子さまの座らせかた」(P.43) をご参照ください。



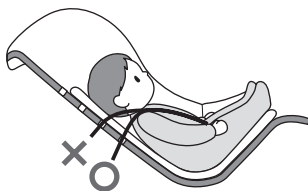
肩ハーネス通し穴の位置が合っていない場合、また正しい肩ハーネスカバーが取り付けしていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換」(P.17) を参照し、正しい状態にしてください。

肩ハーネス高さ

お子さまの体格に合わせてご使用ください。肩ハーネスの位置が合っていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整」(P.17)を参照し、以下のように正しい位置に調整してください。

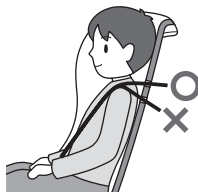
■後ろ向き (体重13kg未満)

肩ハーネス通し穴がお子さまの肩と同じか、肩より低い位置で使用してください。



■前向き (体重9~18kg)

肩ハーネス通し穴がお子さまの肩と同じか、肩より高い位置で使用してください。



⚠ 警告

肩ハーネス高さは必ず正しい位置でご使用ください。
不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換

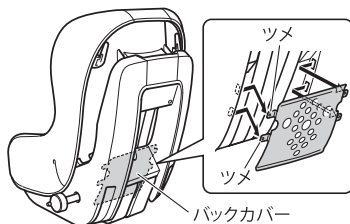
- ① アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスをすべて引き出す。

🔥 アドバイス

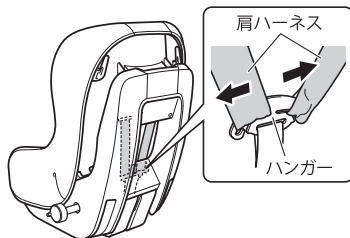
肩ハーネスのみを持って、引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。



- ② バックカバーをたわませてツメをはずし、本体から取りはずす。



- ③ 肩ハーネスをハンガーから取りはずす。



- ④肩ハーネス通し穴から肩ハーネスを引き抜く。



肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換

〈前向き用肩ハーネスカバーを使用している場合〉

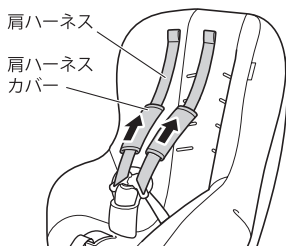
- ⑤ クリップを縦にして、肩ハーネス通し穴へ通す。

🔥 アドバイス

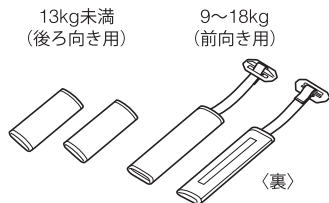
一番上の肩ハーネス通し穴に通す際にはリクライニングを1段目、それ以外は2段目、3段目にセットし、作業してください。(P.42参照)



- ⑥ 肩ハーネスから肩ハーネスカバーを抜き取る。



- ⑦ 肩ハーネスに、ご使用になるお子さまに合った肩ハーネスカバーを取り付ける。

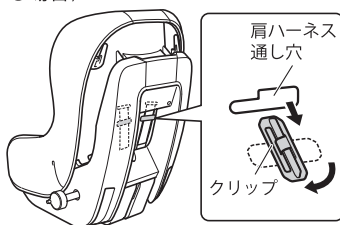


〈前向き用肩ハーネスカバーを使用する場合〉

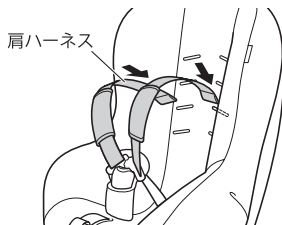
- ⑧ クリップを縦にして肩ハーネス
通し穴へ通す。

🔥 アドバイス

一番上の肩ハーネス通し穴に
通す際にはリクライニングを
1段目、それ以外は2段目、3
段目にセットし、作業してく
ださい。(P.42参照)

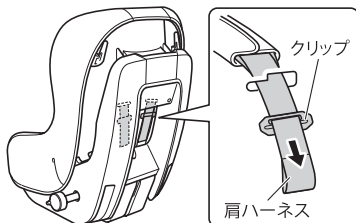


- ⑨ 肩ハーネスを適切な肩ハーネス
通し穴へ通す。



〈前向き用肩ハーネスカバーを使用する場合〉

- ⑩ 肩ハーネスを肩ハーネスカバー
のクリップへ通す。



肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換

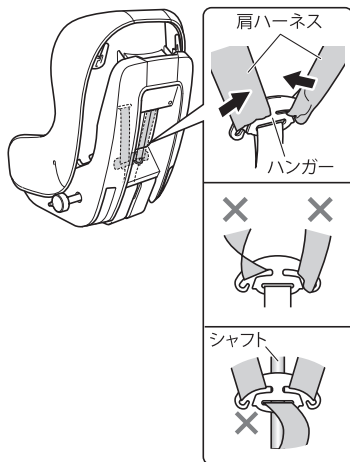
- ⑪ 肩ハーネスをハンガーに取り付ける。

⚠ 警告

- 肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。
- 肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けしていないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シャフトの手前側で肩ハーネスをハンガーに取り付けしないでください。

⚠ 注意

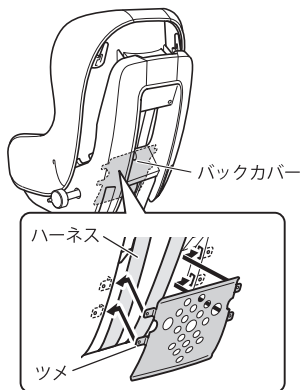
直射日光が当たって、シャフトやハンガーが熱くなることがあります。
やけどのおそれがありますので、ご使用時には、十分注意してください。



- ⑫ バックカバーを取り付ける。

⚠ 注意

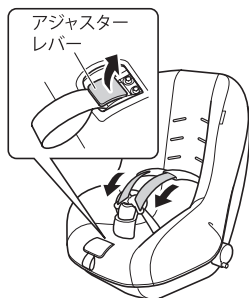
バックカバーのツメが本体に確実にはまっていなかったり、取り付けの向きが正しくないと、事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。



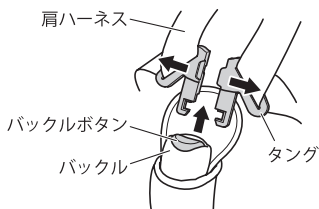
インナークッションの取り付け

インナークッションは、お子さまの体重が7kg未満（参考年齢6ヶ月未満）の場合に使用してください。

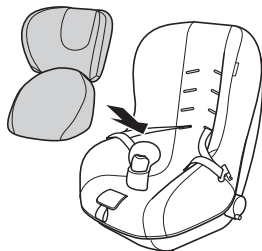
- ① アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。



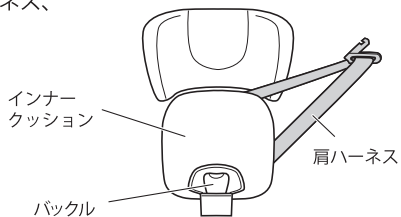
- ② バックルボタンを押してバックルからタングをはずし、肩ハーネスを左右に広げる。



- ③ インナークッションをシート形状に合わせて置く。



- ④ インナークッションにハーネス、
バックルを通す。

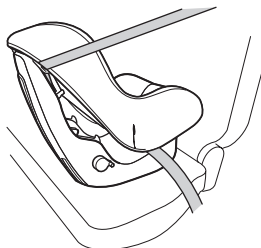


お車への取り付け

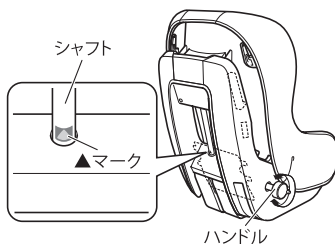
お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

〈取り付けイメージ〉
進行方向に対し、後ろ向きに取り付けます。

※ 説明の都合上、インナークッションは外しています。



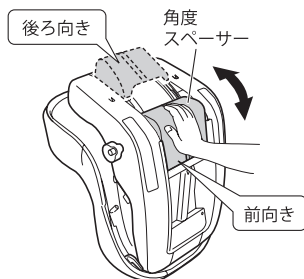
- ① シャフトにある▲マークが背面から見えるように、ハンドルを回してシャフトの向きを合わせる。



- ② チャイルドシート底面の角度スペーサーを後ろ向き取り付け位置（前方）にスライドする。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



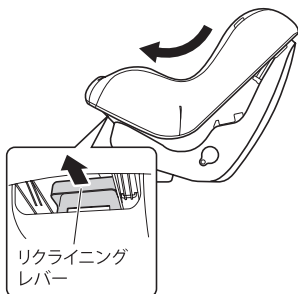
- ③リクライニングレバーを引き、チャイルドシートをリクライニングさせ、3段目（背もたれが最も倒れた位置）（P.42参照）にセットする。

⚠ 警告

リクライニングがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

⚠ 注意

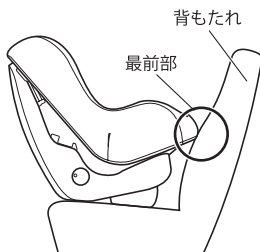
可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



- ④チャイルドシートの最前部がシートの背もたれにぴったりと付くように、チャイルドシートを置く。

🔥 アドバイス

お車のシートが損傷しないようにチャイルドシートの下に別売のシート保護マットやタオル、またはシーツなどを敷くことをお勧めします。



お車への取り付け（乳児用：体重13kg）

- ⑤シートベルトをベルト通し口に通す。

⚠ 警告

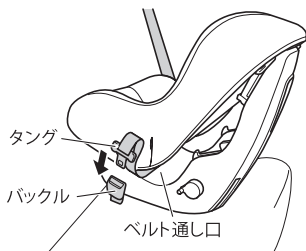
ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所を使用すると事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。



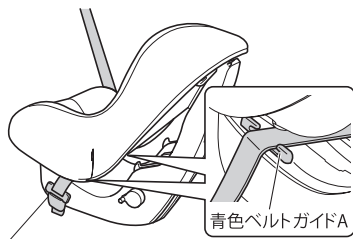
- ⑥反対側のベルト通し口からシートベルトを引き出し、タングをバックルに差し込む。

⚠ 警告

バックルが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。



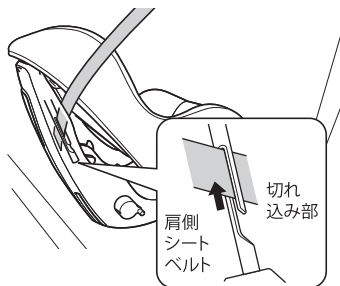
- ⑦腰側（下側）のシートベルトが青色ベルトガイドAの上を通っていることを確認してください。（チャイルドシートの左右両側とも確認）



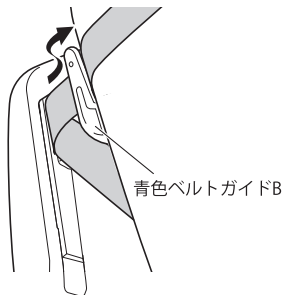
- ⑧シャフト切れ込みに肩側シートベルトを通す。

⚠ 注意

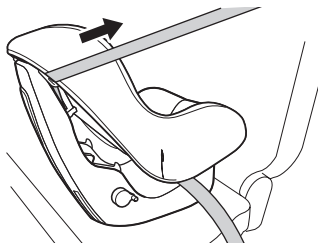
直射日光が当たってシャフトが熱くなることがあります。やけどのおそれがありますので、ご使用時には、十分注意してください。



- ⑨青色ベルトガイドBにシートベルトを通す。



- ⑩チャイルドシートをシートに押し付けながら、肩側（上側）のシートベルトを引っ張り、シートベルトのたるみを取る。



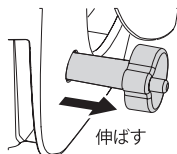
お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

- ⑪ハンドルを引っ張り、伸ばします。

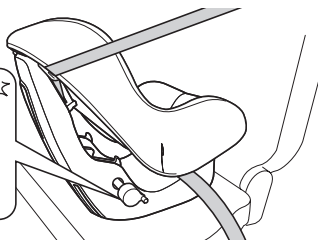


アドバイス

ハンドルがお車のシートやバックルに当たる場合は、縮めたままご使用ください。

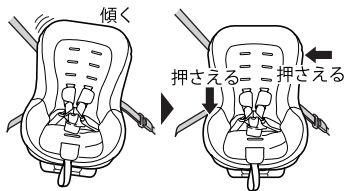


- ⑫ハンドルを“しめる”方向に回す。
空回りし、「カチ」と1回音がするまで回す。



アドバイス

- チャイルドシート固定作業中に傾きが発生した場合は、傾きを修正してチャイルドシートがまっすぐになるように取り付けてください。
- チャイルドシートを長時間取り付けることにより、シャフトに巻きつけたシートベルトに痕がのこることがあります。

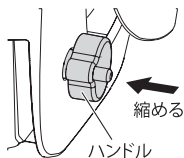


- ⑬ハンドルを押し込み縮めます。



アドバイス

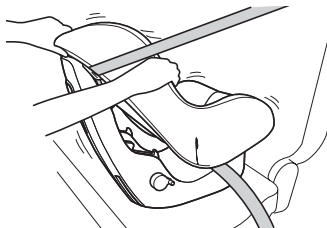
ハンドルがお車のシートやバックルに当たる場合は、伸ばしたままご使用ください。



⑭取り付けチェック

チャイルドシートがしっかり取り付けられていることを確認する。

(目安：動きが前後左右3cm以内)
しっかり取り付けられていない場合はP.26手順④からやり直す。



⚠ 警告

チャイルドシートをシートに固定するシートベルトは緩みがないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

🔔 アドバイス

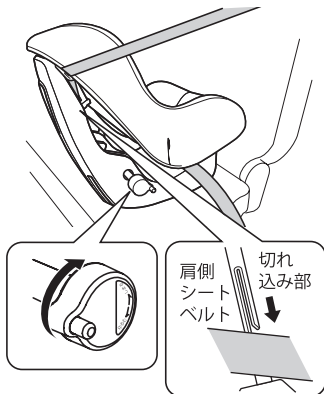
取り付けに関し不明な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお客様相談室にお問い合わせください。

取り外し（乳児用：体重13kg未満）

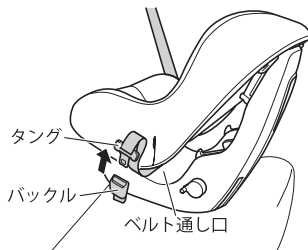
⚠ 警告

シートベルトを取り外す場合は、始めにハンドルをゆるめ、シャフトからシートベルトを外してください。手順が正しくないと、シートベルトが取り外せなくなる可能性があります。

- ①ハンドルを“ゆるむ”方向に回し、シャフトからシートベルトを外す。

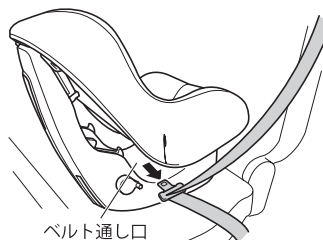


- ②シートベルトのタングをバックルから外す。



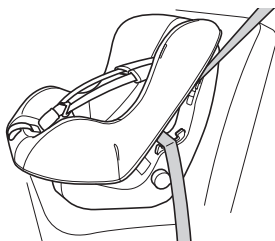
取り外し（乳児用：体重13kg未満）

- ③ベルト通し口からシートベルトを引き出す。

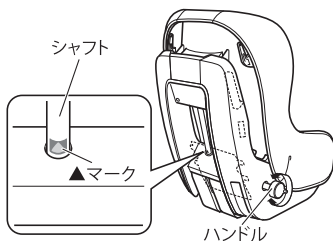


お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

〈取り付けイメージ〉
進行方向に対し、前向きに取り付けます。



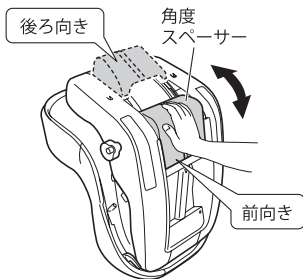
- ① シャフトにある▲マークが背面から見えるように、ハンドルを回してシャフトの向きを合わせる。



- ② チャイルドシート底面の角度スペーサーを前向き取り付け位置に（後方）スライドする。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



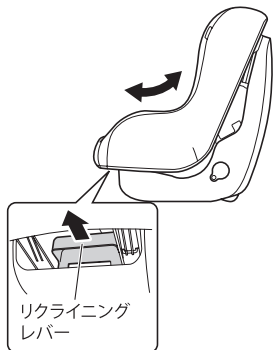
- ③リクライニングレバーを引き、チャイルドシートをリクライニングさせ、2段目（P.42参照）にセットする。

⚠ 警告

リクライニングがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

⚠ 注意

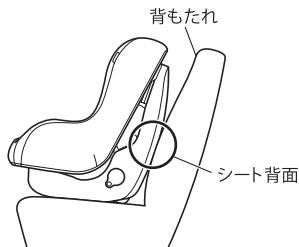
可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



- ④チャイルドシートの背面がシートの背もたれに当たるようにチャイルドシートを置く。

🔥 アドバイス

お車のシートが損傷しないようにチャイルドシートの下に別売のシート保護マットやタオル、またはシーツなどを敷くことをお勧めします。

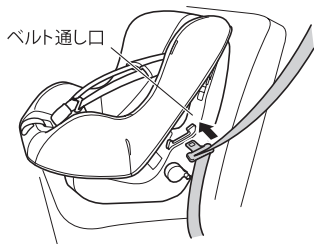


お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

- ⑤シートベルトをベルト通し口に通す。

⚠ 警告

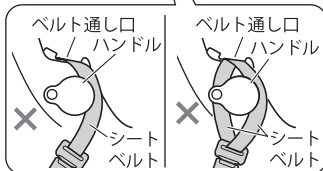
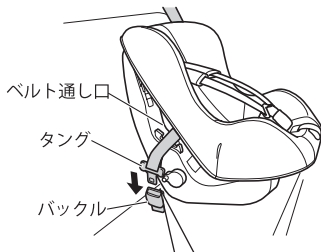
ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所を使用すると事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。



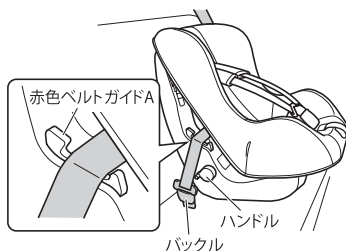
- ⑥反対側のベルト通し口からシートベルトを引き出し、タングをバックルに差し込む。シートベルトは必ずハンドルの後ろ側を通してください。

⚠ 警告

- バックルが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。
- シートベルトはハンドルの後ろ側を通してください。前側を通したり、両側に通すと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトをハンドルの両側に通すと、シートベルトが取り外せなくなる可能性があります。



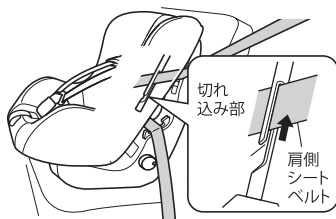
- ⑦腰側（下側）のシートベルトが赤色ベルトガイドAの上を通過していることを確認してください。（チャイルドシートの左右両側とも確認）



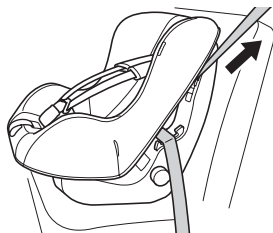
- ⑧シャフトの切れ込みに肩側シートベルトを通す。

⚠ 注意

直射日光が当たってシャフトが熱くなることがあります。やけどのおそれがありますので、ご使用時には、十分注意してください。

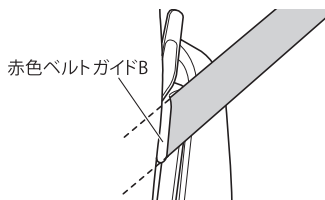


- ⑨肩側（上側）のシートベルトをシャフトから外れないように、引っ張る。



お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

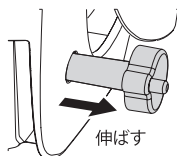
- ⑩赤色ベルトガイドBにシートベルトを通す。



- ⑪ハンドルを引っ張り、伸ばします。

 アドバイス

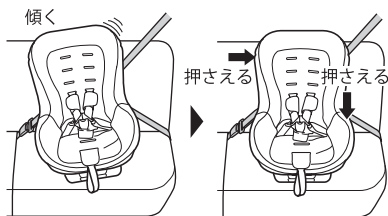
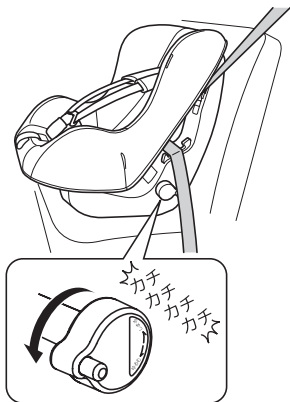
ハンドルがお車のシートやバックルに当たる場合は、縮めたままご使用ください。



- ⑫ハンドルを“しまる”方向に回す。
空回りし、「カチ・カチ・カチ・カチ」と4回音がするまで回す。

🔥 アドバイス

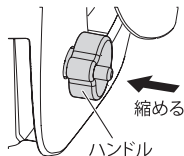
- チャイルドシート固定作業中に傾きが発生した場合は、傾きを修正してチャイルドシートがまっすぐになるように取り付けてください。
- チャイルドシートを長時間取り付けることにより、シャフトに巻きつけたシートベルトに痕がのこることがあります。



- ⑬ハンドルを押し込み、縮めます。

🔥 アドバイス

ハンドルがお車のシートやバックルに当たる場合は、伸ばしたままご使用ください。

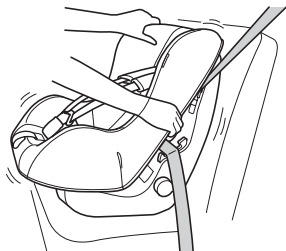


お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

⑭取り付けチェック

チャイルドシートがしっかり取り付けられていることを確認する。

（目安：動きが前後左右3cm以内）
しっかり取り付けられていない場合はP.34手順④からやり直す。



⚠ 警告

チャイルドシートをシートに固定するシートベルトは緩みがないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

👉 アドバイス

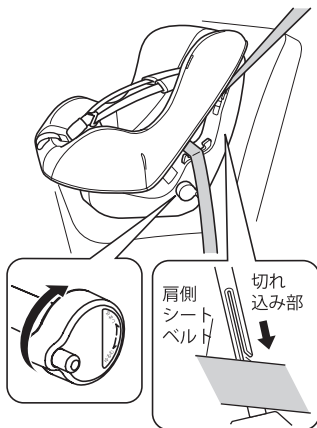
取り付けに関し不明な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお客様相談室にお問い合わせください。

取り外し（幼児用：体重9～18kg）

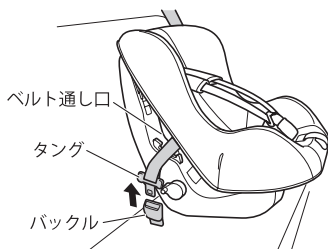
⚠ 警告

シートベルトを取り外す場合は、始めにハンドルをゆるめ、シャフトからシートベルトを外してください。手順が正しくないと、シートベルトが取り外せなくなる可能性があります。

- ①ハンドルを“ゆるむ”方向に回し、シャフトからシートベルトを外す。



- ②シートベルトのタングをバックルから外す。



取り外し（幼児用：体重9～18kg）

- ③ベルト通し口からシートベルトを引き出す。



リクライニングの使いかた

リクライニングレバーを引き、お子さまの体重に合わせてリクライニング位置をセットする。

⚠ 警告

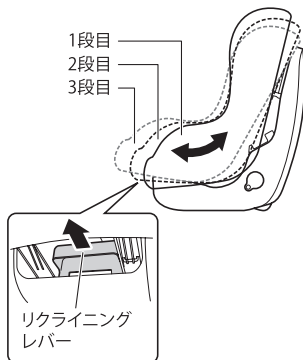
- お子さまの体重に合わせた位置で使用しないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- リクライニングがロックされたことを確認してください。リクライニングがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

🔥 アドバイス

リクライニングレバーが戻らない場合はリクライニング位置に正しくセットされていない状態です。チャイルドシートを軽く前後に動かし、リクライニングレバーがロックされていることを確認します。



リクライニング使用位置

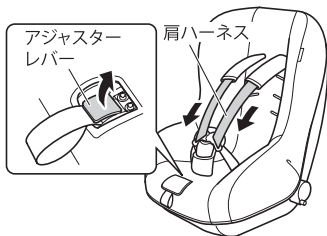
リクライニングの位置	お子さまの体重	
	13kg未満	9~18kg
チャイルドシートの向き	後ろ向き	前向き
1段目	×	○
2段目	×	○
3段目	○	×

お子さまの座らせかた

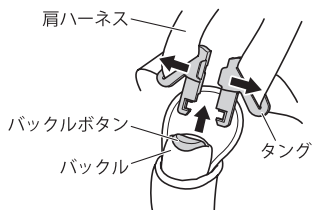
- ①アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。

🔥 アドバイス

肩ハーネスのみを引っ張り、引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。



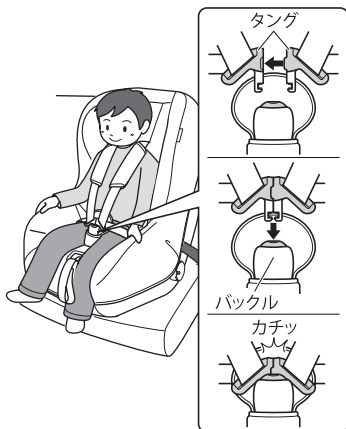
- ②バックルボタンを押してバックルからタングをはずし、肩ハーネスを左右に広げる。



- ③お子さまをシートクッションの上に深く座らせる。



- ④肩ハーネスをお子さまの肩にかける。左右のタングを合わせ、合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、「カチッ」と音がするまで差し込む。
- ⑤タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されていることを確認する。



⚠ 警告

タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負うおそれがあります。

- ⑥アジャストベルトを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取る。



⚠ 警告

ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負うおそれがあります。

お子さまの降りし方につきましては、P.6を参照してください。

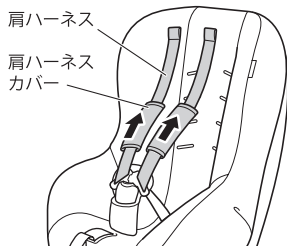
お手入れのしかた

シートカバー類の取りはずし

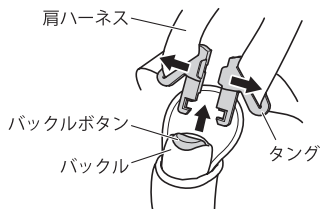
- ①「肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換」(P.17参照)の手順①から⑤にて肩ハーネスを肩ハーネス通し穴から引き抜く。



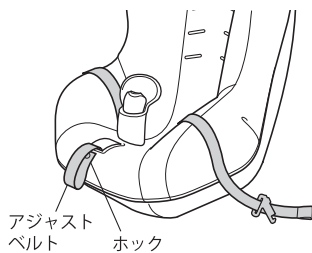
- ②肩ハーネスから肩ハーネスカバーを抜き取る。



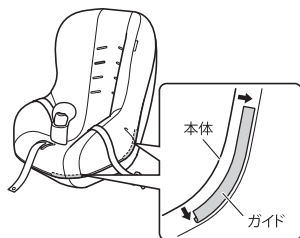
- ③バックルボタンを押してバックルからタングをはずす。



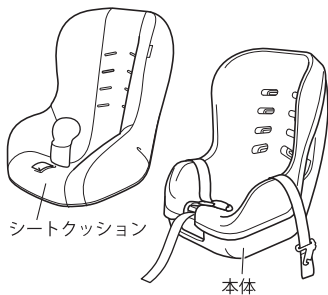
- ④アジャストベルト末端のフックをははずす。



- ⑤シートクッションの上下左右に付いているガイドを外す。



- ⑥本体からシートクッションを取りはずす。



シートカバー類の取り付け

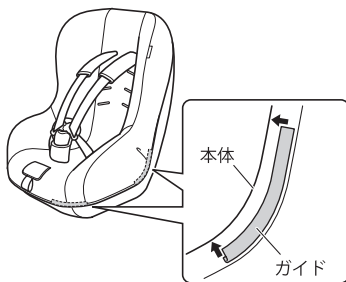
「取りはずし」と逆の手順で、各カバー類を取り付ける。

⚠ 警告

- 専用クッション以外は使用しないでください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。

⚠ 注意

- クッションがズレていたり、本体から浮いていないことを確認してください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。
- ガイドが本体に確実にハマっていることを確認してください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。



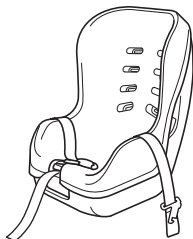
🔥 アドバイス

シートクッションは本体の形状に合わせてかぶせ、ガイドで固定します。

各部のお手入れ

〈本体〉

チャイルドシート本体、ウレタンなどのプラスチック部が汚れた場合は、柔らかい布で乾拭きまたは水拭きをしてください。

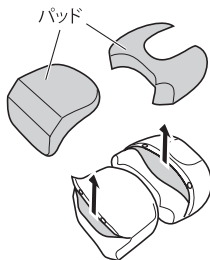


⚠ 注意

- 洗剤類を使用しないでください。変色等のおそれがあります。
- 水拭き後は、完全に乾燥させてからご使用ください。
- 一部の商品には、本体に配線がついています。配線を故意に触ったり、引っ張ったりしないでください。故障の原因となります。

〈インナークッション〉

頭と背中に入っているウレタンを背面から取り出し、中性洗剤を使用して、手で押し洗いしてください。取り出したウレタンは、柔らかい布で乾拭きしてください。



⚠ 注意

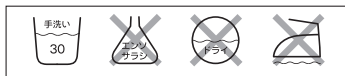
- 洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。
- 洗濯機は使用しないでください。崩れや、やぶれることがあります。
- 内部のウレタンは洗濯しないでください。

お手入れのしかた

各部のお手入れ

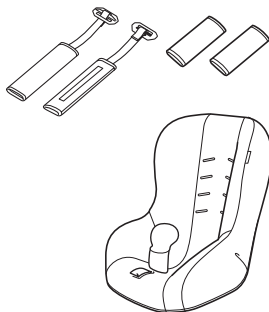
〈カバー類〉

カバー類が汚れた場合は、チャイルドシートから取りはずし、中性洗剤を使用して手で押し洗いをしてください。



⚠ 注意

洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

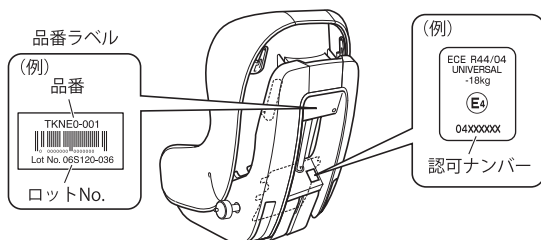


補修部品について

お買い上げの販売店、もしくはお客様相談室（0120-70-5441）までご連絡ください。

お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシート背面に貼っているラベルの品番を必ずお伝えください。

もし、品番が不明な場合は、背面に貼ってある認可ラベルに記載されている認可ナンバーをお伝えください。



〈別売〉

■ スペーサーマット (品番TKACC-003)

お車への取り付け時に、シート形状等で取り付けしづらい場合に使用します。



タカタ株式会社

シートベルト・エアバッグ・チャイルドシートの専門メーカー

商品についてのお問い合わせ・お客様相談室



0120-70-5441

受付時間: 10時~17時 / 但し、土日、祝祭日は除きます

〒107-8508 東京都港区赤坂2-12-31